

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		社会教育指導員配置事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	社会教育係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)				
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	1		ア	高齢者学級数	学級	23	23	23	23	23	
(個別目標)	2	多様な志を育むまち	主な費目	報酬、報償費、旅費					イ	高齢者学級参加者数	人	700	700	700	700	700	700	
(施策)	2	社会教育の充実	対象	社会教育指導員					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	H29 年度～ R5 年度 (7 年間)					ア	高齢者学級参加延人数	人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
(施策)	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト									イ							
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価							
年間トータルコスト	財源内訳	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 								
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	6,430	6,688	6,692	6,743	6,743	6,743										
	事業費計 (A)	千円	6,430	6,688	6,692	6,743	6,743	6,743										
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025										
	人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140	140										
(A) + (B)	千円	6,570	6,828	6,832	6,883	6,883	6,883											
(2) 事業概要										効率性評価	社会教育主事を補佐し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等を行う。							
事業目的																		
事業内容	・高齢者学級や家庭教育学級等の募集・企画・運営 ・学習相談又は社会教育関係団体の育成・指導 等																	
開始経緯	生涯学習の指導、相談対応等のため配置しており、社会教育指導員の指導助言により、高齢者学級の開催や社会教育関係団体の育成により、市民の学習活動の推進が図られる。																	
実施状況	3人の社会教育指導員を配置し、高齢者学級や家庭教育学級等の企画・運営等公民館主事と連携し社会教育の推進を行っている。								達成度評価	高齢者学級については、高齢化・過疎化等により参加者が減少傾向にあるが、研修内容の充実や事業周知により新たな学級も開設できたところである。今後についても、引き続き研修内容の工夫しながら、参加者確保を図る必要がある。								
成果	3人の社会教育指導員を配置し、高齢者学級や家庭教育学級等の企画・運営、社会教育団体の育成・指導を公民館主事等と連携しながら実施し、社会教育の推進・充実が図られた。																	
課題	高齢化・過疎化等により参加者が減少傾向にあることから、今後、研修内容の充実や事業周知により参加者確保を図る必要がある。								改革改善案	拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了								

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		家庭教育学級開設事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	社会教育係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア		イ						
(基本目標)		5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	1		ア 開設学級数		学級	39	39	39	39		
(個別目標)		2	多様な志を育むまち	主な費目	報償費、委託料						イ 家庭教育学級生		人	2,300	2,300	2,300	2,300	
(施策)		2	社会教育の充実	対象	家庭教育学級						成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)		3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる								ア 家庭教育学級参加率		%	80	80	81	82	83
(施策)		5	こころざしアップ教育推進プロジェクト	事業期間	年度～年度 (年間)						イ			71	65	64		
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価							
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)										
年間トータルコスト	財源内訳	国県支出金	千円						有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 保護者や地域から子育てに関する意見・要望等が多く寄せられており、また、近年、情報モラル教育等、様々な課題も生じていることから、身近な保育所（認定子ども園を含む）、幼稚園、小学校、中学校に家庭教育学級を開設し、全ての教育の原点である家庭教育の充実を図る必要がある。								
		その他特定財源	千円															
		一般財源	千円	1,034	1,014	1,000	1,240	1,240								1,240		
		事業費計 (A)	千円	1,034	1,014	1,000	1,240	1,240								1,240		
		所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025								0.025		
		人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140								140		
		(A) + (B)	千円	1,174	1,154	1,140	1,380	1,380	1,380									
(2) 事業概要																		
事業目的	家庭教育は全ての教育の原点であり、親と子が日常的な生活を送る中で、基本的な生活習慣や善悪の判断等を身に付け、思いやりの心や感動する心などをもつ、心豊かな子どもの育成を目指して保護者が共に学習する。																	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明 ・年間学習計画書受理・審査 ・委託契約締結、委託料支払 ・実績報告書受理・審査 																	
開始経緯	家庭教育は社会教育の原点であり、基本的な倫理観や社会的なマナーなどを育成するうえで重要な役割を果たすものであるため。																	
実施状況	家庭教育学級を保育所（認定子ども園を含む）、幼稚園、小学校、中学校の29学級を開設。昨年度より新型コロナウイルス感染症予防の関係により運営が厳しい状況もあったが、それぞれの学級が、様々な工夫をしながら事業を実施しており、平均8回程度の活動となっている。学習内容は人権教育、心肺蘇生・AED講習、子育て学習、食育などの各種学習会、ニュースポーツ体験、レクリエーション活動や携帯スマートフォン等の情報モラル教育など多彩なプログラムが実施されている。																	
成果	各学級では、家庭教育の充実を図るための様々な事業が実施され、人権教育、食育や情報モラル教育など課題解決の学習活動のへ指導助言を行ったほか、「志アップ 子育て手帳」の活用により、学級生の資質向上が図られた。																	
課題	家庭が全ての教育の原点であるという認識と関心をもってもらうため、市内16保育所（認定子ども園を含む）での開設を目標に、福祉課と連携しながら、引き続き家庭教育の推進を行っていく。																	
				改革改善案		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了												

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		公民館管理運営事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度							
				担当係	社会教育係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	条例公民館数	箇所	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりア(基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予	1	10	4	2								9	9	9	9	9				
(個別目標)	2	2	多様な志を育むまち	主	報酬、旅費、需用費、委託料					イ														
(施策)	2	2	社会教育の充実	対	対象 条例公民館					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
(基本目標)	3	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる							ア	施設利用者延人数	人	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000							
(施策)	5	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト	事	年度～年度 (年間)					イ	生涯学習講座参加人数	人	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000							
												12,340	10,539	12,098										
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価													
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価		<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 													
年間トータルコスト	事業費	千円															条例公民館は、地域住民のコミュニケーション及び生涯学習の場として活用されており、引き続き利用者が利用しやすい施設の維持管理に努める必要がある。							
	財源内訳	千円																						
	国県支出金	千円																						
	その他特定財源	千円																						
	一般財源	千円	30,255	31,973	32,449	52,598	32,051	32,051																
	事業費計 (A)	千円	30,255	31,973	32,449	52,598	32,051	32,051																
	所要人員 (年間)	人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200																
人件費概算 (B)	千円	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120																	
(A) + (B)	千円	31,375	33,093	33,569	53,718	33,171	33,171	効率性評価		生涯学習講座の運営・企画等、内容を工夫しながら、参加者の増加を図っている。 また、9人の公民館主事の配置に伴う経費や施設の維持管理に係る経費であり、削減は難しい。														
(2) 事業概要																達成度評価		適切な施設の維持管理を行うとともに、生涯学習講座等の充実を図りながら、利用者の利便性を向上による、利用者数の増加を目指す。						
事業目的	市内9条例公民館に公民館主事を配置し、施設の利用調整や維持管理、生涯学習講座等の企画・運営を行い、市民のが利用しやすい環境を整え、生涯学習の中心施設として利用促進を図る。																							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用調整や施設の維持管理 生涯学習講座等の企画・運営 施設修繕、保守点検業務等 																							
開始経緯	社会教育法第21条第1項に基づき社会教育推進の中心施設として整備されており、地域住民のコミュニケーション及び生涯学習の場となっている。																							
実施状況	市内9条例公民館に公民館主事を配置し、施設の利用調整や維持管理、生涯学習講座等の企画・運営を行い、市民のが利用しやすい環境を整え、生涯学習の中心施設として利用促進が図られた。																							
成果	条例公民館については、市民が利用しやすい施設として、地域住民のコミュニケーション及び生涯学習の場となっている。様々な活動に加え、高齢者学級や生涯学習講座も開設し、社会教育の推進が図られた。																							
課題	施設や空調機等の設備の老朽化が進んでいることから、公共施設管理計画に基づいた施設や設備の整備・更新などを年次的に進める必要がある。																							
										改革改善案		拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 廃止終了 <input type="radio"/>												

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		校区公民館連絡協議会支援事業（公民館総合補償制度及び花いっぱい運動推進事業含む）		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			
				担当係	社会教育係						活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	校区（区）公民館数	公民館	21	21	21	21	21		
		2	多様な志を育むまち	主な費目	旅費、需用費、負担金補助及び交付金				イ				土曜体験広場実施育成会数	育成会	21	21	21	21	21
		2	社会教育の充実	対象	校区公民館連絡協議会 各校区（区）公民館										成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		事業期間	年度～ 年度（ 年間）							ア	校区公民館連絡協議会の活動回数			回	15	15
1	快適な生活支援プロジェクト	イ	土曜体験広場参加者数（延べ）	人		18,000	18,000	18,000	18,000	18,000									
													17,954	9,947	9,787				
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価		
年間トータルコスト	事業費 人件費	財源内訳	国県支出金	千円											有効性評価	多くの校区（区）民が事業に参加することにより、校区（区）公民館活動が活性化し、地域自治組織の強化が図られる。			
		その他特定財源	千円																
		一般財源	千円	24,590	23,602	19,020	4,775	0	0										
		事業費計 (A)	千円	24,590	23,602	19,020	4,775	0	0										
		所要人員 (年間)	人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200										
		人件費概算 (B)	千円	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120										
(A) + (B)		千円	25,710	24,722	20,140	5,895	1,120	1,120											
(2) 事業概要																			
事業目的	市内の地域公民館の連携、行事等の調整を図るとともに、各地区公民館の活動を推進し、併せて会員の資質の向上を図る。																		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付事務 各会議等の連絡調整、資料作成や助言、活動支援 等 花苗配布事業の実施（春・秋） 																		
開始経緯	各校区（区）公民館の設立時期はまちまちであるが、各校区（区）で地域の特性を生かしながら、青少年健全育成、美化活動、防災対策の推進等、様々な活動を行っており、地域活性化が図られている。																		
実施状況	令和3年度より順次コミュニティ協議会へ移行した8地区を除く、松山1校区、志布志9校区(区)、有明3校区の計13校区(区)公民館の運営費の助成を実施し、青少年の健全育成や花いっぱい運動の推進等に取り組んだ。また、市校区公民館連絡協議会として、総会、定例会、三役会等の開催し、各種研修会（九州地区公民館研究大会、大隅地域自治公民館等経営研究会等）への参加も予定していたが、コロナ感染症予防により中止となった。																		
成果	定例会や研修会を通して、校区（区）公民館等の連携が図られるとともに、情報交換をすることで青少年の健全育成や花いっぱい運動などの校区（区）公民館活動の充実、公民館長の資質向上が図られた。また、各校区や市内全体に関わる様々な問題点（少子高齢化、自治会未加入、防災対策等）や地域コミュニティ協議会移行について意見交換等を行い、住みよい地域づくりに貢献した。																		
課題	令和4年度においては、8校区公民館が地域コミュニティ協議会として始動した。また令和6年度には、全ての校区公民館がコミュニティ協議会へ移行する予定である。新たな地域コミュニティの形成を行う中で、関係課との連携を密にし、移行及び今後の運営がスムーズに行えるようにする必要がある。																		
				拡充		現状維持		○ 改善		効率化		廃止終了							
		新たなコミュニティの形成及び発展に向けて、校区公民館長等の意見を伺うとともに、関係課と連携し、効果的に推進する必要がある。																	

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		農村研修センター管理事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	社会教育係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考	実績		実績		実績		実績		
まちづくりア・ラ (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	2		ア	農村研修センター 田之浦ふるさと交流館数	箇所	4	4	4	4	4	
(個別目標)	2	多様な志を育むまち	主な費目	委託料、役務費				イ										
(施策)	2	社会教育の充実	対象	農村研修センター				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	年度～ 年度 (年間)				ア	施設利用者延人数	人	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
(施策)	1	快適な生活支援プロジェクト						イ			2,268	4,801	5,493					
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	これまで地域の中心となる施設として活用されているが、利用者の利便性の向上や役割分担の明確化等の課題が生じていたことから、地域の校区公民館長から、指定管理者制度について意見を伺っており、地域の活力を積極的に活用することが適当と考えられることから、変更することとなった。							
		その他特定財源	千円															
		一般財源	千円	1,637	7,225	1,956	2,563	2,067									2,067	
		事業費計 (A)	千円	1,637	7,225	1,956	2,563	2,067									2,067	
		所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050									0.050	
		人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280									280	
	(A) + (B)	千円	1,917	7,505	2,236	2,843	2,347	2,347										
(2) 事業概要																		
事業目的	研修、集会等を通じて農村地域住民の社会的連帯感を高め、魅力ある生活環境の形成及び地域づくりに寄与するため設置している。																	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理に係る基本協定、年度協定締結 利用状況報告 協定を超える施設修繕 等 																	
開始経緯	<ul style="list-style-type: none"> 田之浦ふるさと交流館—平成17年 森山地区生活改善研修センター—昭和50年 潤ヶ野地区営農研修センター—昭和53年 八野地区農業構造改善センター—平成3年 内之倉農村広場—平成元年 に整備され、令和3年度より運営形態をこれまでの直営方式から指定管理者制度に変更する。																	
実施状況	これまで校区公民館活動の話し合い活動等の施設として使用されるとともに、災害時の避難所等に指定されている施設もあり、地域の中心となる施設として活用されている。																	
成果	これまで地域の中心となる施設として活用されているが、今回の指定管理者制度への変更により、利用者の利便性の向上や役割分担の明確化、これまで以上に施設の有効活用が図られる。																	
課題	施設や空調機等の設備の老朽化が進んでいることから、公共施設管理計画に基づいた施設や設備の整備・更新などを年次的に進める必要がある。																	
										改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		青少年研修支援事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度								
				担当係	社会教育係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
				予算科目	会計	款	項	目	備考	研修応募者数 (小・中・高校生)														
まちづくりア ^ラ ン (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予	1	10	4	3		ア	人	25 0	25 0	25 54	35	35	35							
(個別目標)	2	多様な志を育むまち		主	旅費、負担金補助及び交付金					イ														
(施策)	2	社会教育の充実		対	青少年					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
(基本目標)	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる							ア	研修参加者数 (小・中・高校生)	人	19 0	19 0	19 26	35	35	35						
(施策)	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト		事	年度～年度 (年間)					イ	リーダー研修やジュニアリーダー活動等への参加	人	5 2	5 1	5 2	5	5	5						
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価															
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価															
年間トータルコスト	事業費	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 民間等が行う海外研修は、自己負担が大きく参加が難しく、事業に参加した学校、保護者等から大変よい事業なので継続してほしいとの意見がある。 海外や国内でのホームステイの経験によって、幅広い視野と国際感覚、語学力の向上や生活習慣・文化の違いを学ぶことができ、地域のリーダーとなる広い視野を持つ青少年育成を図る。														
	財源内訳	千円																						
	国県支出金	千円																						
	その他特定財源	千円																						
	一般財源	千円	90	86	988	5,779	5,779	5,779																
	事業費計 (A)	千円	90	86	988	5,779	5,779	5,779																
人件費	人	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700	効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携 国際交流、国際感覚と語学力向上、生活習慣・文化の違いを学ぶ場の提供として、募集、計画、事前研修等に関して行政の支援が必要であり、補助金については、研修費用に係る経費であり削減は難しい。															
所要人員 (年間)	人	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700	0.700																	
人件費概算 (B)	千円	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920																	
(A) + (B)	千円	4,010	4,006	4,908	9,699	9,699	9,699																	
(2) 事業概要																達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間 参加者募集・周知を図りながら、多くの児童・生徒に異文化、異言語を体験させ、自己の確立と地域のリーダーを育成を図る必要がある。							
事業目的	青少年を国外、県外に派遣し、異文化、異言語を体験させ、自己の確立と地域のリーダーを育成を図る。																							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付事務 ・各会議等の連絡調整、資料作成や助言、活動支援 等 ・国内研修の受入・派遣時は運営・随行 																							
開始経緯	平成6年度から様々な研修事業に取り組んできており、現在ではカリフォルニア・シアトルの海外研修、山形県酒田市への国内研修となった。																							
実施状況	中学生対象のカリフォルニア、高校生対象のシアトルの海外研修、小学生対象の山形県酒田市への国内研修を実施しており、多くの参加希望があり、面接等により選考している。																							
成果	令和2年度より、海外研修について、新型コロナウイルス感染症感染予防のため事業を中止したが、令和4年度は、代替事業として、2泊3日のイングリッシュキャンプを行い対象者の学ぶ意欲の向上が図れた。また、国内研修は、冬季の山形への派遣のみ行い、山形の子ども達との交流や雪国での体験活動を行った。																							
課題	特に山形研修については、相手方が小学5～6年生で山形県酒田市の松山地域のみ児童を対象としており、令和元年度は参加者がなく内容を見直しての実施となった。また、令和5年度は、複数ある研修事業の見直しを行うため、夏の派遣は行わないとの連絡があり、冬の派遣のみ計画している状況である。今後の事業継続や相互交流による保護者の負担等を鑑み、研修事業を見直す必要がある。							改革改善案	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了 国内研修については、現状のとおり継続する。 国内研修については、昨年度において代替事業で行ったイングリッシュキャンプの参加者を小学生まで拡充して行う予定としている。また、山形研修について、相互交流の相手方である山形県酒田市の意向も踏まえながら、市内の児童生徒に広く研修の機会が得られるよう事業の見直しを行っていく。															

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		ジュニアリーダー・インリーダークラブ (JACOクラブ) 支援事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				
				担当係	社会教育係						活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)				
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	3		ア	クラブ会員数	人		30	30	30				
(個別目標)	2	2	多様な志を育むまち	主な費目	負担金補助及び交付金						イ	活動回数 (年間)	回		15	15	15	15	15	
(施策)	2	2	社会教育の充実	対象	ジュニアリーダー・インリーダークラブ会員				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
(基本目標)	3	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる								単	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)				
(施策)	5	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト	事業期間	令和3年度～令和4年度 (2年間)				ア	参加した延べ人数	人		200	200	200	200	200			
										イ	リーダーとしての責任や自覚が持てた会員数	人		152	117					
														26	21					
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価									
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)												
年間トータルコスト	事業費	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 										
	財源内訳	千円																		
	国県支出金	千円																		
	その他特定財源	千円																		
	一般財源	千円		419	295	340	340	340												
	事業費計 (A)	千円	0	419	295	340	340	340												
所要人員 (年間)	人			0.200	0.200	0.200	0.200													
人件費概算 (B)	千円	0	0	1,120	1,120	1,120	1,120													
(A) + (B)	千円	0	419	1,415	1,460	1,460	1,460													
(2) 事業概要																				
事業目的	ジュニアリーダー・インリーダークラブを統合したクラブを設立し、ボランティア活動や自然体験研修など異年齢集団での交流を通して、地域リーダーを育成を図る。									効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携 									
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付事務 ・各会議等の連絡調整、資料作成や助言、活動支援 等 ・自然体験活動・研修、ボランティア活動、異年齢交流等 事業企画運営 																			
開始経緯	これまで高校生クラブをジュニアリーダークラブに統一する等、実情に応じて変更してきたところであり、令和3年度よりジュニアリーダー・インリーダークラブを統合したクラブを設立する。									達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間 									
実施状況	ジュニアリーダー・インリーダークラブがそれぞれ活動していたが、活動や研修内容が類似していることから、令和2年度より合同での開催とした。小学生から高校生までの異年齢の活動であったが、それぞれの役割を理解し、充実した活動が展開された。																			
成果	ジュニアリーダー・インリーダークラブの合同での開催により異年齢交流や研修内容の充実し、地域リーダー育成が図られた。									改革改善案	拡充	<input type="radio"/>	現状維持	<input type="checkbox"/>	改善	<input type="checkbox"/>	効率化	<input type="checkbox"/>	廃止終了	<input type="checkbox"/>
課題	地域のリーダーを育成するため、活動内容を常に見直し、更なる活動の充実を図る必要がある。																			